令和6年度 とやま新時代創造創造プロジェクト学習推進事業
実施報告書【学校課題実践校用】

学校番号	52
学校名	富山県立ふるさと支援学校

学校の現状と課題	本校は、隣接するNHO富山病院に入院する病弱の児童生徒を対象とした特別支援学校である。教育方針の一環として「学校行事等への積極的な参加を通して、集団の中で協力し合うことができる豊かな社会性の育成を図る。」ことを標榜している。本校児童生徒は、富山病院に入院しながらふるさと支援学校に登校してくる児童生徒(以下通学生)と、重症心身障害児病棟に入・通所し、主に病棟内でベッドサイドや車椅子での授業を行う訪問教育の児童生徒(以下訪問教育生)が在籍している。コロナ禍が明け、ようやく通学生や一部の訪問教育生が他の訪問教育生のベッドサイドに行き対面での交流学習ができるようになってきたが、訪問教育生の多くはオンラインでの交流学習が主である。そこで、よりオンライン環境をよくすることで、病棟間や学校と病院内を円滑につなぎ、訪問教育生同士や通学生と訪問教育生の交流活動を活性化させ、仲間意識やコミュニケーション能力の向上、豊かな社会性と人間性を育むことにつなげたいと考えた。	
テーマ(特色)	訪問教育生同士や通学生と訪問教育生の交流活動の活性化による仲間意識やコミュニケーション能力の向上、豊かな社会性と人間性を育む。	
設定した「テーマ」の達成状況	・オンライン環境をよくして交流活動を活性化できるようなICT機器等を購入した。オンライン環境がよくなったことで訪問教育生同士や通学生と訪問教育生の交流活動を設定しやすくなり、多くの学習や行事で交流活動を実施することができた。その結果、訪問教育生は交流活動①の成果に書いたような変化がみられ、通学生も相手に対する思いやりが深まり、人間性が高まる姿へと変化がみられた。	
実施内容(具体的に記入する)	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な交流学習の実施について、学部内や学部間で検討を行った。 ・年間を通して、訪問教育生同士の交流実施。(交流活動①) ・運動会を通しての交流実施。(交流活動②) ・さわやか運動(6・10月)を通しての交流実施。(交流活動③) ・文化祭ステージ発表を通しての交流実施。(交流活動④) ・創立50周年記念の絵画作品展示を通しての交流実施。(交流活動⑤) ・読み聞かせ等、読書活動での交流実施。(交流活動⑥) 	
取組による成果(プロジェクト学習推進の観点から)	<p>・交流活動①では、訪問教育生同士をオンラインでつなぎ、画面越しに友達と会って繰り返し一緒に活動を行った。その結果、友達の存在を意識し、一緒に活動する楽しさを知ったことで意欲が喚起され、主体的に活動する姿や活動への興味を広げる姿、活動の継続や活動の仕方に意識を向ける姿へと変化がみられた。交流活動②では、通学生のグラウンド団席と登校した通所訪問教育生の訪問教室、入所訪問教育生の各ベッドサイドの最大6か所をオンラインでつないだ。訪問教育生は、一生懸命競技している通学生の様子や画面越しに応援してくれる通学生の声を励みに、運動会の雰囲気を感じて手を動かし、力を発揮して競技することができた。</p> <p>交流活動③では、通学生の児童生徒会執行部が訪問教育生に「一緒に参加しよう。」と勧誘するビデオ動画を制作した。それを見た訪問教育生全員が一人ずつあいさつする動画を作成し、期間中通学生が通る通学路で上映した。あいさつする訪問教育生に向かってあいさつを返す通学生が多くみられた。</p> <p>交流活動④では、通学生の前で発表する通所訪問教育生のいる体育館と入所訪問教育生が発表するベッドサイド4か所をオンラインでつなぎ、体育館のスクリーンにその4か所を映した。スイッチャーを使うことで、事前に訪問教育生が各自描いた絵画の制作動画とその絵画についてアピールするライブ映像の画面を一人ずつスムーズに切り替えて上映することができ、それを通学生が視聴した。通学生の発表動画は、後日訪問教育生も各自ビデオ視聴して交流した。</p> <p>交流活動⑤では、絵画作品を展示している渡り廊下の通学生と通所訪問教育生のいる通所教室をオンラインでつなぎ、どの絵画の隣に展示するか直接何度かやりとりして決め、展示した。</p> <p>交流活動⑥では、通学生の図書委員と登校できた訪問教育生がいる訪問教室と登校できなかった訪問教育生のベッドサイド、通所訪問教育生のいる通所教室の3か所をオンラインでつないだ。通学生の図書委員は、訪問教育生が聞き取りやすいように工夫して読み聞かせを行うことができた。登校した訪問教育生は、一緒に声を出したり、短い単語を言ったりして楽しく過ごし、「読み聞かせがとても上手だった。」と感想を伝えることもできた。オンラインで参加した訪問教育生も満面の笑顔で聞くことができた。当日参加できなかった訪問教育生は、後日読み聞かせ動画を楽しく視聴して交流した。</p>	
対象者(学年・人数など)	全校児童生徒 31名	
実施実績	4月	効果的な交流学習の実施について学部内や学部間で検討(随時) 訪問教育生同士の交流(交流活動①)
	5月	運動会を通しての交流実施。(交流活動②)
	6月	さわやか運動を通しての交流実施。(交流活動③)
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	文化祭ステージ発表を通しての交流(交流活動④) 創立50周年記念美術作品制作を通しての交流(交流活動⑤) さわやか運動を通しての交流(交流活動③)
	11月	
	12月	
	1月	読書活動での交流(交流活動⑥)
	2月	
	3月	